

令和7年度第3回理事会議事録

1. 日 時：令和7年9月30日（火）：18:00～19:20
 2. 出席者：奥沢悦子、吉田泰憲、逆井久美子、久保沢勇亮、佐藤舞、高松みどり、齋川牧子、齋藤賢、中島有里、金子なつき、佐々木義明、野中健一、石鳥純子、千葉満、齋藤浩治、中村忠善
 3. 欠席者：木村正彦、須藤安史、小山内誠、鳥谷部慎子
- 定款第5章第32条及び諸規定により、議長に奥沢会長があたり、書記に齋藤賢理事が指名され、オンラインで審議が行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

吉田学術部長より以下の報告があった。

①各種研修会

・青臨技関連（日臨技システム登録分）のみ

- 05/31 令和7年度 青臨技 臨床検査総合部門研修会（第1回）…参加者：33名
06/07 青森県輸血療法懇話会…参加者：18名
06/14 令和6年度青臨技精度管理指導講習会…参加者：98名
06/25 令和7年度第1回下北支部研修会…参加者：14名
06/26 令和7年度 青臨技東青支部 生物化学分析部門研修会…参加者：14名
07/12 令和7年度（第50回） 医師・検査技師卒後教育研修会…参加者：52名
07/13 令和7年度 青臨技 臨床生理部門研修会（第1回）…参加者：248名
07/24 令和7年度 三八支部 病理細胞部門研修会…参加者：19名
07/26 青森臨床検査技師会西北五支部夏季研修会…参加者：25名
08/27 令和7年度 三八支部 臨床生理部門研修会…参加者：53名
09/13 2025年度青森県感染対策協議会（AICON）総会及び特別講演会…参加者：13名
09/18 青森県臨床検査技師会 中弘南黒支部 臨床生理部門研修会…参加者：17名
09/18 令和7年度 三八支部 生物化学分析部門研修会…参加者：27名
09/20 令和7年度 青臨技 輸血・細胞治療部門研修会（第1回）…参加者：10名
- 06/14 令和7年度 一般社団法人 青森県臨床検査技師会定時総会…参加者：95名
07/13 第38回弘前市市民の健康まつり…参加者：9名

・その他

- 06/15 第51回青森県医学検査学会…参加者 会員150名、賛助会員29名、学生5名、その他7名
11/15～16 令和7年度 日臨技北日本支部医学検査学会（第13回）…新潟県

・今後開催予定の学会・研修会

10/18 WEB開催 輸血セミナー

10/25 令和7年度三八支部臨床一般部門研修会

11/05 令和7年度三八支部臨床血液部門研修会（WEB）

11/29 令和7年度 青臨技 臨床血液部門研修会（第1回）

・北日本支部

10/18～19 令和7年度 日臨技北日本支部生物化学分析部門研修会…福島県

（11/01～30 オンデマンド配信あり）

10/25～26 令和7年度 日臨技北日本支部臨床生理部門研修会…青森県

（11/10～12/21 オンデマンド配信あり）

11/01～30 令和7年度 日臨技北日本支部臨床検査総合部門研修会（WEB）

11/01～30 令和7年度 日臨技北日本支部生物化学分析部門研修会

11/22～23 令和7年度 日臨技北日本支部輸血細胞治療部門研修会…北海道

（12/01～12/31 オンデマンド配信あり）

2026年

01/19～02/23 令和7年度 日臨技北日本支部臨床血液部門研修会（WEB）

02/01～02/28 令和7年度 日臨技北日本支部病理細胞部門研修会（WEB）

・全国学会

2026/09/26～27 第75回 日本医学検査学会 千葉県千葉市（幕張メッセなど）

②令和7年度 青臨技精度管理調査の進捗状況（スケジュール含む）

・9月の中旬：学術部長より各部門長へ実施内容の確認し、開催案内など作成

9月22日（月）を提出締め切り

・10月1日（水）に各施設連絡責任者への一斉メール（青臨技ホームページへの掲載）

青臨技ホームページ上でGoogleフォームを用いて申込みを行う（QRコードも掲載）

申込締切 10月14日（火） 17:00まで

・学術部長が参加施設、項目をまとめ、各部門長と精度管理担当者へ送付（サイボウズまたはメールにて）。部門長は試料の準備（生物化学分析部門、病理細胞部門、輸血細胞治療部門 臨床微細物部門の各部門）。上記4部門以外の部門長はフォトサーベイ、アンケートなどを準備。

・11月8日（土）：精度管理担当者および協力可能な会員で試料の梱包・発送の準備（冷蔵にて）。…三八支部で試料の発送を行う（今年も八戸赤十字病院で実施）

※出題に形式はGoogleフォームを利用で実施

- ・11月末：各施設からの回答締め切り（回答締切 11月28日（金）17:00まで）
- ・12月末（年内）：各部門集計し、報告書を提出。
…提出された報告書は青臨技学術担当者が査読
- ・翌年の1月：査読が終了した報告書を順次青臨技HPへ掲載。
- ・2～3月上旬：精度管理調査報告会（オンデマンド配信）の予定。

2. 公益部経過報告

木村公益部長欠席のため、逆井事務局長より以下の報告があった。

①心電図検診について

後期入学者の心電図検診日程

○北斗高校通信制：10名（男4、女6）

10月1日（水）10:30～

○尾上総合高校通信制

後期入学者がいないため実施なし。

②医師会、青臨技で協議し、検査開始から終了までの流れを網羅した心電図検診のマニュアル整備を行っている。

③野球肘検診について

各地区でスタッフを募集中

青森地区 11月22日（土）、24日（月・祝）会場：荒川市民センター

十和田地区 11月30日（日）会場：十和田市志道館 多目的室

弘前地区 12月6日（土）、7日（日）会場：はるか夢球場

五所川原地区 12月13日（土）会場：五所川原市中央公民館 大ホール

3. 渉外部経過報告

須藤渉外部長欠席のため、奥沢会長より以下の報告があった。

①9月5日（金）、9月6日（土）、日本臨床衛生検査技師会大規模災害模擬対応訓練に青技から奥沢会長、小倉達也技師（青森県立中央病院）も参加した。Google フォームを使用し、県内の被災状況などについて情報収集し、日臨技に報告した。県内では27施設より情報提供あり。

②検査と健康展2025青森県を11月24日（月、祝日）10時～14時に弘前市のヒロロスクエアにて開催。内容は例年同様。弘大学生さんにも当日スタッフのお願い予定。他にも参加できる方がいれば連絡下さい。

- ③日臨技政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設
各病床数に、八戸市立市民病院、つがる西北五広域連合つがる総合病院、医療法人平成会八戸平和病院、公立七戸病院で決定。この調査協力の期間は2年間。
- ④第20回JIMTEF災害医療研修会ベーシックコースに、岡本光代技師(つがる西北五広域連合つがる総合病院)を推薦した。

4. 事務局経過報告

逆井事務局長より以下の報告があった。

(一社)青森県臨床検査技師会

4月からの総数：新入会21名、再入会2名、転入4名、転出3名、退会1名

会員数：629名（新入会0名、転入0名、転出0名）、名誉会員7名、永年会員49名

①賛助会員の申込状況（9月末で締め切り）

現在受付された分は35社、バナー広告は9社。

②論文投稿（9月末で締め切り）

現在5編+講師分2編。

編集は会誌編集委員に依頼したい。

10月1日以降に会誌編集委員のサイボウズ参入予定。

会長へ巻頭言依頼しておきたい。

③八戸市精度管理専門委員について

堀内弘子さんに依頼した。

八戸市医師会臨床検査センター 10月27日（月）14時～

BML八戸 10月27日（月）15時30分～

④75JAMTについて

知事に26日土曜の式典・情報交換会へ正式に打診した。

5. 奥沢会長より報告

①令和7年度大規模地震時医療活動訓練への参加協力していただいた。

県内の施設責任者へ配信した安否確認・被災状況などのGoogleフォームの回答は、県内94施設中、返答入力は32施設であった。本訓練のクロノロジーを含む報告内容は、会報JAMTマガジン10月号に掲載される。なお、齋藤浩治監事より、このGoogleフォームへの未回答であった理由に関する検討が必要との意見が出された。未回答に関する検証を後程、実施する事とした。

②CVIT 研修会後援依頼があり。昨年同様、承諾している。

③日臨技より

第3回日臨技理事会開催：2025年9月27日（土）9:30～12:30

- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の修了率は全国平均で「48.4%」。青森県は「58.4%」会員すべての受講が必要であるが、頭打ち状態である。継続して会員への積極的な受講を勧めてみるが、今後も開催地の集約・遠方となる見込みである。
- ・会誌「医学検査」ならびにJAMTマガジンの電子書籍化となるが、今まで大学・関連団体へ「医学検査」寄贈していた分に関しても、提供を中止することとした。
- ・なお、日本医学検査学会のポケットプログラムの紙媒体は最終的に廃止となるが、当面は、当日配布用として紙媒体と残す（第2回日臨技理事会）。
- ・日臨技事務局の電話機に全通話録音機能が導入される。
- ・臨地実習管理システム導入がされ、学校側とのマッチングが円滑になる見込み。
- ・第3回日臨技理事会において、74JAMTより学会開催報告書が提出され、この資料はサイボウズにおいて実務委員へ情報提供した。

④第50回青臨技会誌への投稿について

- ・投稿内容を確認しているが、投稿規定が守られない内容構成のまでの投稿が続いている。
- ・この対応策として、中村忠善監事より、各施設責任者宛に、論文投稿に関して共著者による論文内容の確認依頼をしてはとの提案が出された。会長名で施設責任者宛にこの依頼内容を配信する事とした。
- ・千葉満理事より、他の学会での論文投稿を参考にした論文投稿チェックの様式を添付するなどの案がだされ、この参考となる様式フォーマットを千葉満理事が検索を担当して頂けたことになった。

⑤青森県臨床検査技師会長、日臨技理事 奥沢悦子 行動報告

2025年

6月15日（日）第51回青森県医学検査学会

6月16日（月）「連盟」勉強会（web）

6月17日（火）北日本支部学術集会企画パニック値打合せ（web）

6月18日（水）令和7年度大規模地震時医療活動訓練：調整会議（web）

6月26日（木）日臨技 第2回生涯教育あり方委員会（web）

6月28日（土）日臨技 令和7年度定時総会出席（川崎）

7月1日（火）令和7年度大規模地震時医療活動訓練：調整会議（web）

7月2日 (水) 日臨技 全国支部学会研修会あり方委員会 (web)

7月9日 (水) 令和7年度大規模地震時医療活動訓練：調整会議 (web)

7月9日 (水) 75JAMT企画：メッセとの打ち合わせ (web)

7月11日 (木) 令和7年度大規模地震時医療活動訓練：調整会議 (web)

7月12日 (土) 県医師会卒後教育精度管理報告会参加 (青森市)

7月15日 (火) 日臨技 職域別職能推進WG (病棟・在宅医療/救命救急) (web)

7月26日 (土) 日臨技 第2回理事会 (web)

7月30日 (水) 75JAMT 全国学会3役打合せ会議 (web)

8月5日 (火) 75JAMT 幕張メッセとの会議 (web)

8月13日 (水) 日臨技災害WG事前打合せ会議 (web)

8月14日 (木) 和7年度大規模地震時医療活動訓練：調整会議 (web)

8月16日 (土) ~17日 (日) 日臨技より依頼 JIMTEF ファシリテーター (東京幡ヶ谷)

8月19日 (水) 臨地実習指導者ファシリテーター打合せ (web)

8月20日 (水) 日臨技災害WG会議 (web)

8月21日 (木) 県医師会高校生心電図打合せ会議 (web)

8月24日 (日) 日臨技臨地実習者講習会：ファシリテーター (web)

8月25日 (月) 75JAMT 全体会議 (web)

8月29日 (金) 第72回日本臨床検査医学会 (幕張メッセ) : 75JAMT 打合せ2件(自費)

9月3日 (水) 日臨技 第2回ラダー勉強会

9月5日 (金) ~6日 (土) 令和7年度大規模地震時医療活動訓練 (青森県庁)

9月18日 (木) ~21日 (日) 韓国釜山KAMT学会 (75JAMT 広報活動・ポスター発表)

9月25日 (木) 日臨技 第3回生涯教育あり方委員会 (web)

9月27日 (土) 日臨技 第3回理事会 (東京大森)

【議題】

1. 青臨技HPの氏名掲載について

吉田副会長より、現在はHPに部門長や精度管理委員の氏名が掲載されているが、他都道府県の技師会のHP掲載状況も考慮して青臨技も氏名掲載は理事までにしてはどうかという提案があった。

理事に了承を求めたところ、過半数の出席者が異議なく了承された。

2. 野球肘検診の窓口について

奥沢会長より、野球肘検診の窓口を今後は公益部が担当していくこととしたいという提案があった。

理事に了承を求めたところ、過半数の出席者が異議なく了承された。

3. 青森ピンクリボンキャンペーンの協賛について

逆井事務局長より、例年協賛しており、今年も同様でよいかという提案があった。

理事に了承を求めたところ、過半数の出席者が異議なく了承された。

【その他】

1. 県学会について

来年度の青森県学会開催において、会場（アラスカ会館）は前日の17時から予約する。

2. 会誌について

今年はPDFで作成するため製本作業は無し。

3. 講師料の源泉徴収について

青臨技では講師の手間を省くために源泉徴収は1万円から対応する。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。